
鶯と屋敷の子守歌

耀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鶯と屋敷の子守歌

【ZPDF】

Z0910M

【作者名】

耀

【あらすじ】

ここは鶯が一年中鳴くお屋敷
椿は此処から出られるか…?

驚き（前書き）

全力でトマトピューレ見たいな液体が出てきます

ホラーで恋愛＝トマトピューレ

説明文たりねえよーくそつ！なんでこうなるんだ！

「隊長！作者がストライキ始めました！」

上の事が苦手な方も大丈夫な方も出来るだけ逃げて！超逃げて！

「」は鶯の鳴き声が一年中きこえるお屋敷
深夜の一時だけしか入れないし、見えない。
だからよく肝試しなど行われるが誰一人戻つてこない。

それでもあなたは入りますか―――？

・・・どうやら一人来てしまったようだ。
名前は桜椿サクラツバキというのか・・・

さて、小奴がどれほどの肝を持った奴だか楽しみじゃの。
我がしもべ達はどのよくな反応するのか。
小奴は我を見つけることができるか。
清い肝をもつた人間ほど眞いものはない。
しかし何処かで見たことがある。

・・・
無理に思い出す必要はないか。
そろそろ一分がたつ。

・・もう小奴は逃げられなくなつた。
どんな手でくつてやるうか―――？

私は（前書き）

前回の注意書きをしつかり読んでくださいね！

私は

「・・・まだだ。」

毎日来る「しね」というメール

毎日来る無言電話

そう、私は苛められるのだ。

クラスメイトは勉強のストレスを私にぶつけて発散している。

私を標的にした理由・・・

それは「泣き虫で弱いから」だ。

そのせいで・・・私は・・・

「・・・あれ？」

おかしい。

いつもなら50件は来てるであろうメールが

今日は1通しか来ていない。

「鶯からの挑戦状？・・・何か怖いし、あやしそうな...」

私はここで削除しようとしましたが、好奇心に負けずには開いてしまったのです...

「あなたは鶯のお屋敷に選ばれました・・・！ お屋敷って、あのお屋敷？！」

あのお屋敷とは午前一時にしか現れなく、入つて行ったものは誰一人と戻つて来なかつた。

「 こ、行くわけがない！？ あれ？ まだ続きがある。 ． ． ． 」
から玉を盗み出したらあなたは苛められなくなります。 」

ありえない。

だけど、もしも…もしも本当だったら…？

気付いたら私はお屋敷に向かって走り出していた。

次回でやつとグロ系入ります

「みやつーな」「こ」「暗いよ・・・」

椿は勇気を振り絞つてお屋敷のある森に行つた
そこは鶯の声はするどいにうか鶯一匹も見当たらなかつた

「・・なんで鶯のお屋敷つていつんだろ?
こんな静かなのに」

ザツザツザツと音をたてて歩いてたら一時になつていふことに気付いた

「早くしなきや。あつ・・・」

少し大きめな門を発見した椿は走り出した

(大丈夫、落ち着いて私
お宝をとつて帰ればいいだけなのだから)

椿は大きく息を吸つて自分の身長の3倍はある扉を力いっぱい押し
て開けた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0910m/>

鶯と屋敷の子守歌

2010年10月16日08時37分発行